**３　年　次　生　出　願　資　格　申　告　書**

|  |  |
| --- | --- |
|  受験番号（※） |  氏名 （自署） |

（１）出願資格（修得単位）の確認

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 卒業に必要な全ての科目 | 成　　績 | （イ）その成績を得た科目の単位数合計 | （ハ）割合（イ／ロ） |
| 優 | 単　位 |  |
| 良・可 | 単　位 |  |
| 成績区分のない科目 | 単　位 |  |
| （ロ）単位数合計 | 単　位　 |  |
| 出身学部の成績制度を示す書類 |  |

（２）法律基本科目（憲法，行政法，民法，民事訴訟法，商法，刑法，刑事訴訟法）の単位修得状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 法律基本科目 | 成　　績 | （ニ）その成績を得た科目の単位数合計 | （へ）割合（ニ／ホ） |
| 優 | 単　位 |  |
| 良・可 | 単　位 |  |
| 成績区分のない科目 | 単　位 |  |
| （ホ）単位数合計 | 単　位　 |  |

（裏面の注意事項を参照のうえ記入してください

（１）表（２）表に共通の記入上の注意

＊ 出願資格［12］の出願資格（３年次生出願資格）により出願する者のみ提出してください。

＊　2019年度前期までに修得した科目の成績が記載された成績証明書に基づいて記入してください。

ただし，2019年度前期までに修得した科目の成績証明書の提出が出願期間内に間に合わない場合には，出願期間に2019年9月13日（金）から9月26日（木）の間に発行された成績証明書に基づいて記入したものを提出してください。また，その場合には，個別に本研究科教務係に連絡をしてください。

＊　成績が，「優」「良」「可」の３段階（「Ａ」「Ｂ」「Ｃ」の３段階を含む。）以外で評価される場合の算定方法

　・　「秀」「優」「良」「可」で評価される場合：「秀」と「優」の単位数を合計し「優」欄に記入。「良」と「可」の単位数を合計し「良・可」欄に記入。

　・　「優」「良上」「良」「可」で評価される場合：「良上」，「良」及び「可」の単位数を合計し「良・可」欄に記入。

　・　成績が点数で示される場合：満点の80％以上を「優」，80％未満を「良・可」欄に記入。

＊（ハ）欄及び（ヘ）欄は，小数点以下第3位を切り捨てたうえで，小数点以下第2位まで記入してください。

（１）表記入上の注意

＊　記入した単位が卒業に必要な単位であることを示す書類（学生便覧等）のコピーを，本申告書にホチキスで綴じ合わせ，その書類の名称を記入してください。

＊　単位数に含めない授業科目

・　修得した単位が卒業に必要な単位ではない科目

・　単位を修得していない科目

（２）表記入上の注意

＊　ここにいう法律基本科目（憲法，行政法，民法，民事訴訟法，商法，刑法，刑事訴訟法）とは，以下の科目を指します。

憲　法：憲法の全分野。具体的には，憲法総論，人権，統治機構を取り扱う科目。

　　行政法：行政法の全分野。具体的には，行政法総論，行政救済法，行政組織法，地方自治法等を対象とする科目。

民　法：民法の全分野。具体的には，民法総則，物権法（担保物権法を含む），債権総論，債権各論（契約法・不当利得法・不法行為法を含む），親族法，相続法を取り扱う科目。

民事訴訟法：判決手続。民事執行法，民事保全法，倒産法，司法制度論，裁判法は含まない。

商　法：会社法，有価証券法，商法総則，商行為法を含み，保険法・海商法・金融商品取引法は含まない。なお，授業担当教員の判断により，会社法において金融商品取引法の一部を含めている場合，有価証券法において振込等を扱っている場合，商行為法において保険法や海商法が半分程度までの時間数で含まれている場合であっても，中心部分が上記商法に含まれる範囲であれば，全て商法の単位と扱ってよい。

刑　法：刑法総論および刑法各論を取り扱う科目。

刑事訴訟法：刑事訴訟法学の基本的事項を取り扱う科目。

＊　単位数に含めない授業科目

・　「法学入門」「生活と法」等，法学・法律問題一般に関する科目

・　単位を修得していない科目